

SGH 通信

高知県立高知西高等学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL 088-844-1221 / FAX 088-844-4823

H28. No.10 URL: <http://www.kochinet.ed.jp/nishi-h/>

～1 年生の取組～

2016.10.31

第 16 回グローバル探究 I 「SWOT 分析を行う」

9 月 28 日（水）、グローバル探究 I の授業で「SWOT 分析」を行いました。4 つのサブテーマに基づいて、高知県の SWOT 分析を行い、高知県の現状を整理しました。

～SWOT 分析とは？～

S(Strength:強み)・W(Weakness:弱み)・O(Opportunity:機会)・T(Threat:脅威)の頭文字を取った分析方法で、戦略立案やマーケティング計画を策定するために使われる手段です。

高知県を取り巻く環境による影響と、それに対する高知県の現状を分析しながら、高知県の地域活性化の方策を考え出す活動をしました。次回よりこの分析内容をベースにして、「地域創生モデル案」のテーマを決定していきます。



第 17 回グローバル探究 I 「地域創生モデル案作成に向けての手順説明」



10 月 19 日（水）5 限目にトレーニング室で地域創生モデル案作成に向けての説明が行われ、探究の手順や注意点が示されました。6 限目は、各教室にて、前回の SWOT 分析から導き出した内容をもとに探究テーマを決める作業に入りました。

生徒たちの感想では、「前回まではテーマが与えられていたのが、今回は自分達でテーマを考えるので難しい」という意見もあり、初めての事に戸惑っているようでしたが、「少しずつ決めていきたい」や、「色々と考えていく事は楽しい」など前向きな意見が聞かれました。

～学生TA紹介～



伊藤 綾音さん 教育学部 1 年生
出身：高知西高校
趣味：テニス

ほとんどの生徒さんが、積極的に意見を言い合っていて驚きました。各グループに対して、的確なアドバイスをすることが難しかったです。テーマ設定など難しいことが多いと思いますが、グループのみんなでアイデアを出し合って頑張ってください。



谷田 悠さん（教育学部 1 年生）
出身：高知西高校
趣味：ボウリング

フレンドリーな生徒さんもいて楽しかったです。答えられることは精いっぱい答えて、私も聞きやすいように堂々としているように意識するので、よろしくお願いします。がんばりましょう！

第15回グローバル探究Ⅱ 研究論文フローチャート作成

10月14日（金）の授業では、前回に引き続き、研究論文フローチャートの作成と研究内容のブラッシュアップが行われました。生徒たちはグループで話し合ったり、タブレットを使ってデータを集めたり、先行研究や研究機関のホームページを調べるなど、活発に活動していました。ある程度フローチャートが仕上がってきたグループは、先生や学生TAさんの意見を聞きながら内容を深めていました。



学生TAさんより

生徒さんが一生懸命課題と向き合う姿勢が見られました。そして、論理的に考える方法を少しずつ身につけているように感じました。自分達で課題を見つけて解決していく事はとても難しいことです。しかし、この授業を終えた時、その難しさの分だけ得られるものは大きいと思います。ですが、まだまだ論文を書くための材料は足りないと思います。自分が書いた事をしっかりと説明できるように「なぜ～なのか」をつきつめていきましょう。

高知大学大学院 1年 西谷 法周

第1回四国 SGH 高校生会議

10/15(土)・10/16(日)に愛媛県で第1回四国 SGH 高校生会議が開かれ、本校からは8人の生徒が参加しました。開会式の後、参加校からの SGH 取組発表があり、その後、各テーブルにばらばらに分かれて座り、交流を深めつつ「高校生からの SGH 事業への提言」・「ストリートチルドレンについて」のテーマでグループディスカッションが行われました。SGH事業への提言では、海外を知る良い機会となっている、5年間の指定が終了した後も取組の成果により延長してほしいなどの意見が出されていました。また、ストリートチルドレンでは、自立した生活ができるようにするためにはどうするか、高校生ができることなどについて積極的な討議が行われていました。



第一回四国 SGH 高校生会議に参加して

四国の SGH 認定校5校の生徒が集まりディスカッションを行いました。この会議に参加していた生徒は皆行動力があり、またしっかりとした自分の意見を持ち、口々に発言できていて、とてもレベルの高いディスカッションだと感じました。ハイスピードで話し合いが進んでいくので、私だけおいていかれまいと集中して取り組み、出来る限り発言するようにしました。たくさん刺激を受け、自分自身も少し成長できたと思うので、本当に参加して良かったと思いました。また、参加した生徒とも仲良くなり、人脈をつくることができたので、今後に生かしていけると思います。

2-7 田岡 詩織